

フィリピンで学んだ英語と人間性

私は、小さい頃から英語が好きでしたが、次第に苦手意識を持つようになりました。しかし、アルバイト先で外国人のお客様と接する機会が増えたことで、上達したいという思いが強くなりました。

そこで、留学するにあたり、「以前のように英語を好きになること」、「アルバイト先で外国の方々との英語での会話に対し苦手意識をなくすこと」、「様々な価値観に触れ、強い自分になること」の目標を立てました。

実際に留学先で授業を受け、自分の英語力不足を実感しながらも、勉強や会話に取り組むことで通じ合える喜びを感じました。

さらに、このプログラムを通じて 3 つの気づきや学びを得ることができました。

①「発音」の重要さに気づきました。授業を受ける前は、現地のスタッフさんに、「water」と言っても通じず疑問に感じていましたが、授業を受けた後は、口の形、舌の位置一つでこんなにも変わるのかと驚き、言葉が通じなかった理由を理解することができました。

②考え方や価値観の違いについての理解が深まりました。寮生活の中で、スタッフに急ぎのお願いをしても「later」と返答された後、頼み事を忘れられてしまい、もう一度申し出ると思い出してくれる、ということが何度かありました。もしこれが日本で起きた場合なら腹立たしく思うかもしれませんが、フィリピンではごく普通のことだから「これからは早めに言うようにしよう」という考えに自然となっていき、相手の考え方や価値観を受け入れ、自分がどう行動するかが大切だと学びました。

③日本の環境が整っていると強く認識しました。例えば、フィリピンではトイレペーパーを水に流さないという習慣や、インターネット接続がない寮生活を経験し、日本の衛生環境やインフラの充実に改めて感謝しました。

そして日本に帰国後、アルバイト先で外国人のお客様を接客した際に、仲間から「成長したね」と言ってもらえることができ、英語での接客にも自信を持てるようになり、当初の目標を達成できたと実感しました。

また、海外で生活したことで様々な価値観を学び、留学前よりも精神的に強くなったと感じています。困難な時にもどうすればいいのかということを常に考えて生活したことが、日本に帰ってきてからも役立っています。この留学で得た経験を活かし、日常生活でも楽しみながら根気強く取り組む姿勢を持ち続けたいです。

